

保健師が出張所に

出張所では、今年4月に市税・保険料などの公金収納を廃止し、今まで以上に地域と向き合い、市民に身近な地域拠点へと転換する取り組みを進めています。その一つとして、今年度から週2日、保健師を出張所に配置し、健康コミュニティづくりの支援を行っています。

今回は、これに先駆けて、10年前から地域主体のもと保健師と協働で行っている、久宝寺地区の健康づくりの取り組み「花みずきの会」をご紹介します。

「自分たちで決め、自分たちで取り組む」をモットーに

この会は月1回、自分たちで作った活動計画に基づき、体操やクラフト（手芸など）、健康講座などを行っています。当日の準備・受けはもちろん、クラフトの材料購入から試作品づくりまで、すべて地域住民で構成されるボランティアが行っています。一方、保健師は、参加者に対して血压測定や健康相談、がん検診・住民健診などの啓発のほか、介護予防につながるゲームの企画などを行っています。

発足した当初は参加者が集まらない時期もありましたが、コミセンまつりなどで地道にPRを重ねた結果、参加者は年々増加しています。



地域住民の健康増進に

代表の角田益子すみだますこさんは、「わたし自身が健康に関心を持ち始めたのは、近くで行われる住民健診の話を保健師さんから聞き、ご近所さんと誘い合って行ったのがきっかけです。今後は男性や若い世代などにも広く参加を呼び掛け、いずれは『参加者という立場からボランティアとして運営する立場に』という好循環が生まれ、地域住民の健康増進につながってほしいと考えています」と話していました。

市は、出張所を拠点として、これまで以上に健康コミュニティづくりに力を注ぐとともに、福祉や子育てなど何でも気軽に相談できる環境の整備を進めています。

☆問合せ 市民ふれあい課

☎924・3818

FAX 992・1021